

大分県とサイバーセキュリティ対策等に関する連携協定を締結 都道府県レベルで初
～1,000人の「情報セキュリティマネジメント試験」合格者、100人の登録セキスペ資格者を目標に～

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：富田 達夫）は、大分県（知事：広瀬勝貞）が「情報セキュリティ先進県」を目指していることに鑑み、相互に連携協力することを目的として、連携協定を締結しました。都道府県レベルとのこのような連携協定は、初めてのものとなります。

1. 趣旨

大分県では、「ラグビーワールドカップ 2019」を控え、県内の情報分野の安全・安心の向上を図り、地域の活性化に取り組むことにより、「情報セキュリティ先進県」を目指しています。

これを受けて、IPAと大分県は、共に公的機関としてその保有する経験と知見等に基づいて可能な限り、相互に連携協力することを目的に、本日、両トップにより連携協定の締結を行いました。

2. 協定締結者

大分県知事 広瀬勝貞

独立行政法人情報処理推進機構理事長 富田達夫

3. 協定概要

(1) 情報セキュリティの強化

- ・大分県及び県内市町村を対象とする情報セキュリティ対策等に関するIPAからの専門的助言
- ・情報セキュリティ対策セミナー等へのIPAからの講師派遣
- ・情報セキュリティマネジメント試験や情報処理安全確保支援士の普及に資する情報提供

(2) ITの利活用促進と人材の育成

- ・IT利活用プロジェクトに対するIPAからの専門的助言
- ・IT先進技術に関するセミナー等へのIPAからの講師派遣及び人材育成の支援

4. 大分県の数値目標

今後5年間で、以下を目指す。

- ・県内の情報セキュリティマネジメント試験合格者 1,000人
- ・県内の情報処理安全確保支援士登録者 100人



■本件に関するお問い合わせ：IPA 戦略企画部 米田
■報道関係からのお問い合わせ：IPA 戦略企画部 広報グループ 白石
Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp